

授 業 科目名	セミナーⅡ 教養演習（経営学）	※選 択	開講年次	2	単位数	2
科目区分	基本科目					
サブ タイトル	自由にやろうぜ		担当者	野呂 一郎		
講義概要	<p>【概要】</p> <p>野呂の専門である経営学とは何か？それは、情熱と、柔軟性と、応用力だ。 まず経営学でもなんでも、熱意がないと意味がない。でも特に経営学は情熱がないと、実は使えないんだ。柔軟性っていうのは、自由と言い換えてもいい。そして経営学はあらゆることに驚くほど応用ができるんだ。経営学は応用してはじめて、使える経営学といえる。演習のタイトルを「自由にやろうぜ」にしたのは、どんなテーマだって、経営学にできるっていう野呂の自信、いや経営学の深さかな。そういう経営学の自由闊達さをゼミを通じて理解すると、経営学がますます面白くなるよ。</p> <p>【到達目標】</p> <p>演習では、みんなの目標というよりも、野呂が目標を持って、覚悟を決めてやりたい。到達目標は、ひとりひとりの持っている力を、最大限引き出すこと。プロレスと同じだな。</p>					
履修条件	特になし。野呂とならウマが合いそうだと考える学生					
教科書・ 参考書	<p>【教科書】なし</p> <p>【参考書】</p> <p>「ナウエコノミー -新・グローバル経済とは何か-」学文社 野呂一郎</p>					
授業内容	<p>■ジュリスト+経営学もいいかも</p> <p>野呂は常々、法学+経営学=最強、と考えている。法学で社会の常識を学び、経営学で変化に対応する柔軟性を学ぶ、このコンビネーションは社会に出てからものすごく力を発揮すると思うがゆえである。この演習はもちろん、みんなの考えていること、希望をじっくり聞いて、内容を決定するが、例えば法律ケース雑誌のジュリストに取り上げられている最新ビジネス判例を題材にして、経営学的な考察をする、なんていうのも面白いかもしれない。野呂も法学部出身だから、出来ないことはない。</p> <p>こんなことも含め、キミたちのいろんなニーズに対応したいと考えている。</p>					
評価方法	ゼミへの出席と貢献で評価する					
評価基準	演習に出席するのみならず積極的に参加し、課題を達成するとともに、学習した内容をよく理解した者には「A」、不足がある場合にはその程度により「B」または「C」とし、出席、参加度または達成度が著しく低い者はその程度に応じて「D」または「E」とする。					
その他	<p>“野呂一郎のナウエコノミー” http://archive.mag2.com/0000234593/index.html も参考に。</p> <p>※E カリキュラムの学生は選択必修科目</p>					